

発行 学校法人 藤枝学園
 藤枝明誠中学校・高等学校
 渉外課広報担当
 TEL (054) 635-8155
 FAX (054) 635-8494
 【URL】 https://www.fgmeisei.ed.jp
 【Email】 meisei@fgmeisei.ed.jp

第108号
 進路特集



令和4年度6/10金11土開催
 創立中学20周年・高校40周年記念
 「青藍祭」

節目の年、明誠の歴史を紡ぐ

6月10日、11日に本校の文化祭である「青藍祭」が開催された。本年は計47団体が参加をした。11日には新型コロナウイルスの影響で、昨年度できなかった一般公開を行うことができた。本年度は「一絲壯大(いっしろうだい)」というテーマの

も、文化祭が行われた。本年度は高校創立40周年、中学創立20周年という節目の年である。この歩みの中でできた太く強い糸をこの先教員、生徒一人ひとりが紡ぎ、より強い糸にしていくという決意でこのテーマに決まった。そのようなことから、本年度は40周年記念動画やグッズの作成・販売にも力を入れた。作成したトートバッグは、明誠生はもちろんのこと、一般来場者の方々にもご購入いただいた。生徒会の本部役員生徒を中心に、ボランティアの生徒たちとも力を合わせ、様々な企画を行うことができた。

各参加団体もとても生き生きとした活動を見せてくれた。模擬店、クラスや学年、部活動の展示ステージ発表ではどの生徒も全力で企画を考え、当日はその努力を売らせていた。普段の学校生活では見られない才能を發揮して、多くの生徒が楽しめた青藍祭になった。また、今年是一般公開ということで、本校保護者や近隣の方々、小学生とその保護者の方々にもお越しいただいた。どの来場者も笑顔で本校を回られていたのが印象的であった。およそ2年ぶりに行なった一般公開の中で、本校の良さを他の方々にお見せすることができたと感じている。

新型コロナウイルスの流行も落ち着きを見せ始め、前年度まではできていなかった企画や活動を行うことができた。教員生徒が一丸となって当日の活動を成功させようと努力し、全校生徒、また来場者の方々の思い出に残る青藍祭が開催できたと感じている。今年度もまだ様々な学校行事が催されるため、明誠一丸となって一つ一つを成功させていきたい。また、来年度もこのような青藍祭を開催すべく努力していきたい。

(生徒会担当 久保田虹輝)

明誠高校創立40年、明誠中学創立20年を迎えた今年度。生徒と教員一人一人の想いと明誠の歴史を太く強い糸に例え、さらにその糸を強固なものと、文化祭が行われた。本年度は高校創立40周年、中学創立20周年という節目の年である。この歩みの中でできた太く強い糸をこの先教員、生徒一人ひとりが紡ぎ、より強い糸にしていくという決意でこのテーマに決まった。そのようなことから、本年度は40周年記念動画やグッズの作成・販売にも力を入れた。作成したトートバッグは、明誠生はもちろんのこと、一般来場者の方々にもご購入いただいた。生徒会の本部役員生徒を中心に、ボランティアの生徒たちとも力を合わせ、様々な企画を行うことができた。

各参加団体もとても生き生きとした活動を見せてくれた。模擬店、クラスや学年、部活動の展示ステージ発表ではどの生徒も全力で企画を考え、当日はその努力を売らせていた。普段の学校生活では見られない才能を發揮して、多くの生徒が楽しめた青藍祭になった。

明誠高校創立40年、明誠中学創立20年を迎えた今年度。生徒と教員一人一人の想いと明誠の歴史を太く強い糸に例え、さらにその糸を強固なものと、文化祭が行われた。本年度は高校創立40周年、中学創立20周年という節目の年である。この歩みの中でできた太く強い糸をこの先教員、生徒一人ひとりが紡ぎ、より強い糸にしていくという決意でこのテーマに決まった。そのようなことから、本年度は40周年記念動画やグッズの作成・販売にも力を入れた。作成したトートバッグは、明誠生はもちろんのこと、一般来場者の方々にもご購入いただいた。生徒会の本部役員生徒を中心に、ボランティアの生徒たちとも力を合わせ、様々な企画を行うことができた。

各参加団体もとても生き生きとした活動を見せてくれた。模擬店、クラスや学年、部活動の展示ステージ発表ではどの生徒も全力で企画を考え、当日はその努力を売らせていた。普段の学校生活では見られない才能を發揮して、多くの生徒が楽しめた青藍祭になった。

明誠の歴史を紡ぐ

青藍祭ポスター

青藍祭パンフレット

29 HR (明誠中出身) 小杉 一左

今回で5回目の青藍祭。僕たちのクラスは「ぼくマリオ。」というアトラクションを実施しました。一昨年から世界中で猛威を振るっているコロナウ

イルスの影響で多くの制限がありました。青藍祭を行うことができたことに感謝しています。不安が多い状況でも常に全力全霊で何事にも取り組んだのが私たち内進生です。準備から当日まで、時には意見が合わなく衝突してしまったこともありましたが、HR委員や各ゲームのリーダーを中心に助け合って一人一人がそれぞれ自分の役割を持ち、仕事を進めることができました。その結果、多くの方々に楽しんでいただくことができました。僕はこの内進クラスが大好きです。

歌い切った青藍祭

38 HR (豊田中出身) 大橋 陽奈詩

私は昨年に引き続き、今年も有志ステージ出演しようと思いき、急遽校内でバンドを組みました。初めの練習ではリズム、テンポも合わず不安でいっぱいでした。しかし、バンドのみんなが自主練習を重ね、合同練習でも次第にいい演奏ができるようになっていきました。そして文化祭当日、機材トラブルでスムーズに演奏が始まらないことがありましたが、青藍祭両日とも体育館の客席が満員になるほど、大勢の方に来ていただきました。ステージに立った私たちも練習の成果を發揮し、心から楽しんで演奏することができました。

ステージが終わってからも皆さんの感想をもらってとても嬉しかったです。高校最後の文化祭を最高のものにできました。

明誠スタイルの指導が目標達成を叶える

明誠で学ぶ

最後の一年

33HR (青島中出身)

宮崎 我空



私は、高校生活最後の一年である今年を悔いのないものにするために、一日一日を無駄にせず、第一志望校合格を目標に生活していきたいと思えます。

現在は、夏休み前までに苦手としている数学と英語の基礎固めを目標に日々学習に励んでいます。英語では、自分に足りない単語力と読解力を身につけるため、単語帳や長文読解問題を活用し、模試でも通用する学力を身につけていきます。また、数学では苦手である数学I・Aの分野を、スタディサプリなどを利用して復習をしています。私はずっと苦手なことから逃げてきました。だからこそ、一番大切な大学受験から逃げず、夢を実現できるように、今年一年頑張ります。

感謝を忘れず最後まで

36HR (青島中出身)

塚本 勇人



私は受験生としての一年、自分に甘えることなく勉強でも部活動でも最後までやり抜きます。

それは決して簡単なことではありません。しかし仲間がいることで、それすら乗り越えることができると思います。四月末から「九時まで学習」が始まり、私の学習環境、意欲は大きく変わりました。「もう今日は九時まで学習をやらないで帰ろう」と思ったときに友人が「残ってやってこうよ」と声をかけて後までやり抜きます。

高みを目標についで

37HR (高田第中出身)

佐野 文音



私は、受験生として自分に厳しく、高い目標をもって努力していきたいと思えます。

最後に、私は学習環境を整えている明誠で学習に取り組むことができていることに感謝しています。さらに、周りには熱心な指導をして下さる先生方、支えてくれる人たちがいます。この恵まれた環境に感謝しながら、更なる高みを目指していきます。

明誠ならではの進路指導対策

令和3年度出身中前期科コース別部活動別大学合格状況

- 放課後プロジェクト指導
- 英検資格取得奨励と指導
- 3年生「9時まで学習」
- 年末年始共通テスト対策勉強会
- 国公立2次対策講座

〈野球〉 横浜市立大 専修大 拓殖大 玉川大 東京経済大 日本大 日本文化大 武蔵野大 関東学院大 静岡産業大 常葉大 愛知学院大 南山大 中京大 東海学園大 名城大 皇学館大 立命館大 大阪電気通信大	〈サッカー〉 釧路公立大 公立鳥取環境大 名桜大 流通経済大 東京国際大 獨協大 文教大 青山学院大 國學院大 専修大 大正大 大東文化大 拓殖大 帝京大 東海大 東洋大 日本大 法政大 明治学院大	神奈川大 関東学院大 産業能率大 横浜薬科大 新潟経営大 岐阜聖徳学園大 山梨学院大 岐阜協立大 静岡産業大 常葉大 愛知学院大 中京大 名古屋外国語大 名古屋商科大 日本福祉大 愛知東邦大 鈴鹿医療科学大 四日市大 びわこ成蹊スポーツ大 龍谷大	大阪経済大 大阪体育大 阪南大 関西学院大 I P U環太平洋大 〈陸上〉 東北医科薬科大 駿河台大 文教大 杏林大 順天堂大 専修大 玉川大 東京農業大 東洋大 神奈川大 山梨学院大 常葉大 愛知学院大
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中京大 至学館大 名古屋外国語大 藤田医科大学 びわこ成蹊スポーツ大 京都外国語大 立命館大 龍谷大 近畿大	〈テニス〉 金沢大 高知大 長崎県立大 帝京平成大 昭和女子大 東海大 東京工科大 東邦大 日本大 立正大 神奈川大 神奈川工科大 静岡理工科大 常葉大 愛知工業大 南山大 京都外国語大 近畿大 岡山理科大	帝京大 順天堂大 成蹊大 専修大 東京経済大 東洋大 日本大 明治学院大 ヤマザキ動物看護大 立教大 神奈川工科大 横浜薬科大 愛知学院大	帝京大 東海大 日本大 神奈川大 神奈川工科大 桐蔭横浜大 松蔭大 横浜薬科大 山梨学院大 常葉大 静岡理工科大 聖隷クリストファー大 常葉大 金城学院大 中京大 中部大 南山大 名城大 鈴鹿医療科学大 桃山学院大	亜細亜大 駒澤大 専修大 大東文化大 拓殖大 中央大 帝京大 東海大 日本大 武蔵大 神奈川大 常葉大 中京大 名古屋経済大 大谷大 龍谷大 近畿大 奈良大	〈吹奏楽〉 富山大 公立鳥取環境大 中央大 東京家政大 洗足学園音楽大 横浜薬科大 岐阜医療科学大 聖隷クリストファー大 常葉大 愛知学院大 金城学院大 中京大 中部大 南山大 名城大 鈴鹿医療科学大 桃山学院大	〈囲碁〉 神奈川歯科大 愛知大 愛知医科大	〈美術〉 岩手大 東北大 公立はこだて未来大 北里大 中央大 東京薬科大 東京理科大 日本大 法政大 明治大 早稲田大 岐阜医療科学大 静岡理工科大 常葉大 修文大 龍谷大	〈写真〉 拓殖大 静岡福祉大 愛知産業大	〈科学〉 名古屋大 神奈川大 豊田工業大	日本大 明治学院大 立教大 早稲田大 岐阜女子大 岐阜聖徳学園大 静岡理工科大 常葉大 静岡福祉大 愛知学院大 金城学院大 東海学園大 名古屋外国語大 名古屋商科大 南山大 皇学館大	上智大 成蹊大 大正大 東洋大 日本大 法政大 明治学院大 立教大 早稲田大 横浜薬科大 静岡理工科大 常葉大 中京大 名古屋外国語大 名古屋学院大 南山大 立命館アジア太平洋大 サンタモニカ・カレッジ ハンダーソン州立大	〈MLAC〉 静岡大 奈良教育大 都留文科大 静岡県立大 上智大 玉川大	〈歴史研究〉 聖隷クリストファー大 常葉大
--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	-----------------------------

令和3年度 部活動別大学合格 (既卒生含む) (赤字は国公立大学)

第33回定期演奏会 6月25日(土)26日(日)
3年ぶりに一般公開で開催
劇三合唱も行われる



3年ぶりに一般の観客を迎え演奏を行った

末に第33回定期演奏会を
 私たち吹奏楽部は6月



34HR (明誠中出身) 藁科 花恋

最後の定期演奏会

行いました。私は演奏会
 リーダーとして、会の運
 営や演出などを担当しま
 した。私は内進生なので
 吹奏楽部に所属して6年
 目になります。今回運営
 を高3生中心で行うこと

で、先輩たちの苦勞を実
 感しました。
 準備の中で私が強く感
 じたことは、皆で協力す
 ることの大切さです。本
 番当日までの仕事を全員
 で分担して進めることが
 できました。1年生は演
 奏だけでなく、劇やダン
 スなどにも一生懸命取り

組んでくれました。また、
 演出に必要なものを、先
 日の青藍祭でのクラス作
 品を借りることができ、
 全体の演出がより楽しい
 ものになりました。
 様々な方に支えて頂き
 演奏会を無事成功させる
 事が出来ました。本当に
 ありがとうございます。

先日、第33回となる定
 期演奏会が、焼津市大井



37HR (菊川中出身) 津村 ゆり

感謝と御礼

川文化会館ミュージコで
 開催されました。今回は
 3年ぶりに一般公開を行
 い、2日間の総来客数は
 約1300人と、たくさん
 の方に私たちの演奏を
 聴いてもらうことができ

ました。会場に足を運ん
 だいただき、本当にあり
 がとうございました。
 今回の演奏会では、昨
 年までではできなかった劇
 や合唱、演劇といった演
 出を行いました。企画か
 ら実践にいたるまで初め
 てのことが多く、スムー

ズにいかないこともあり
 ましたが、聴いてくださ
 る方に楽しい時間を過ご
 してもらえような演奏
 を心掛けました。
 今後、藤枝明誠の吹奏
 楽部がさらにレベルアッ
 プできるように、これから
 も練習に力を入れていき
 ます。

おめでとう! インターハイ静岡県予選大会優勝
さあ、全国へ目指せ『全国の頂を』
 バスケ部



チーム一丸となって試合に臨んだ

インターハイ静岡県予選大会準優勝
サッカー部
全国への出場切符逃すも
次への課題を確認

私たちサッカー部は5
 月、6月に行われたイン
 ターハイ予選に出場しま
 した。昨年のインターハ
 イでは2回戦敗退という
 悔しい結果に終わってし
 まいました。先輩たちの



31HR (小川中出身) 山本 蒼太

俺たちの夏、冬に向けて

私たちがサッカー部は5
 月、6月に行われたイン
 ターハイ予選に出場しま
 した。昨年のインターハ
 イでは2回戦敗退という
 悔しい結果に終わってし
 まいました。先輩たちの

簡単な試合は一つもなく、
 納得がいけない試合が続
 きました。これから
 も応援よろしくお願
 いいたします。

冬への選手権は絶対に全
 国に行きます。これか
 らも応援よろしくお願
 いいたします。

イメージです。メンタル
 スポーツと言われるが、
 実際は、無になること
 です。練習と同じように、
 ただ真ん中を狙って60発
 撃つ、それができれば結
 果はでると思います。ほ
 か、のスポーツと同じです。
 私自身、高3になって
 から試合で練習のように
 点数がとれていません。
 試合の度に、点数を気に
 しているのかもしれない
 ですね。次は楽しめるよう
 になりたいです。

感謝
 先日のインターハイ静
 岡県予選では優勝するこ
 とができました。たくさ
 んのご声援ありがとうございました。
 この優勝までの道のり
 は決して簡単なものでは
 ありませんでした。新型
 コロナウイルスの影響で



34HR (熊本市立立川南中出身) 上野 幸太

バスケットボールの練習
 もできず、チームもバラ
 バラになっていました。
 しかし、スタッフの方々
 や学校の先生方、保護者
 の皆さまのたくさんの方
 のサポートがあり、自分
 が思う存分にバスケット
 ボールをする環境を作
 ってくださいました。そ
 のおかげで全力で打ち
 込むことができ、優勝と
 いう結果をつかむことが
 できました。

チームの目標は「静岡
 無敗・全国制覇」です。
 東海大会では不甲斐ない
 結果に終わってしまった
 ため、インターハイでは
 藤枝明誠高校と静岡県の
 代表として恥じないよう
 にチーム一丸で1戦1戦
 戦い抜きます。バスケッ
 ト部員の応援をよろ
 しくお願いいたします。

思うような結果を残すこ
 とは出来ませんでした。
 そこからインターハイで
 結果を出すためには何が
 必要か考え、それに取
 り組みました。その中で
 チームとして特に力を入
 れたのは、チーム一つ
 として取り組むこと

になるということです。
 新人戦では、チームの流
 れが悪い時に個人でどう
 にかしようとしてしまっ
 ていましたが、インター
 ハイ予選では、試合に出
 ているメンバーだけでな
 く、ベンチのメンバーも
 一丸となって戦うことが
 できました。

留学生も加わって、新
 体制となってもう一度チ
 ームが一体となること
 が必要です。インターハイ
 まで残り一ヶ月、取り組
 まなければならぬ課題
 もあります。一日一日の
 練習を大切にしていま
 す。

5月22日静岡高校にて第
 53回高校将棋選手権大会
 団体戦が行われた。
 将棋の団体戦とは3人の
 チームで2勝すれば勝利
 となるシンプルなもの
 である。本校からは2チ
 ームが出場した。藤枝明誠
 Aチーム(坂本一真・浅

野晴喜・鈴木颯史)は地
 区大会優勝し第2シード。
 Bチーム(白坂恵一郎・
 鈴木元輝・原田孝太郎)
 は地区大会3位で出場を
 果たした。
 Bチームは1回戦浜松日
 体高校に敗退。Aチーム
 は掛川西高校に勝利。B
 チームは気合いが空回り
 してしまった印象だった。
 その後Aチームは順調に
 勝ち上がり、2回戦浜名
 高校に、準決勝静岡東高
 校に勝利し、決勝の舞台
 に上がることができた。

相手は今大会屈指の強豪
 静岡高校である。
 試合が始まり、まず鈴木
 が1勝をあげた。そして
 坂本が敗退。残る1局に
 注目が集まる。熱戦だっ
 た。最後までどちらが勝
 つかわからない将棋だっ
 た。残念ながら浅野は敗
 れた。いい将棋だったし、
 いい試合だった。優勝は
 逃したがやりきった1日
 だった。選手の皆さんお
 疲れ様でした。
 (顧問 稲見幸尚)

第40回春季東海地区高等学校三銃射撃競技大会に参加
試合を楽しめるように
 6月19日三重県宮ライ
 フル射撃場で開催された



310HR (明誠中出身) 村松 佳香

第40回春季東海地区高等
 学校ライフル射撃競技大
 会に参加し3位でした。
 エアライフルとは、圧
 縮した空気を使って、鉛
 の弾丸を発射させ10m先
 にある直径0.5mmの標的に



チーム一丸となり決勝へ駒を進めた

着弾させるスポーツです。
 立った状態で5kgあるラ
 イフル銃を持ち60発撃つ
 た合計点が競います。直
 径4.5cmの得点範囲から外
 れると0点。真ん中の0.5
 mmにびつたり弾があた
 ると10・9点です。立射
 の姿勢をつくり、動かな
 いで標的を狙い、心臓の
 鼓動で狙いが外れないよ
 うに、トリガーを引く瞬
 間も銃口が動かないよう
 に静かに引き誰にも引い
 たことに気がつかれない
 ことです。

進路ガイダンス
 6月20日、高校2年生と3年
 生を対象とした進路ガイ
 ダンスが、本校を会場に
 おこなわれた。2年生は
 31の学問系統、3年生は
 43の大学からそれぞれの
 興味関心に於いて選択し、
 説明を受けた。生徒たち
 は自分の将来を思い描き
 ながら熱心に耳を傾けて
 いた。(高校3学年 勝又春香)

